で使用前に必ずお読みください

水系消火訓練用ナレールWT-3(蓄圧式) 取扱説明書

この度はマルヤマの訓練用消火具をお買いあげいただき誠に ありがとうございました。

で使用の前にこの取扱説明書と銘板をよく読んで、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られると ころに大切に保管してください。

取扱い上の注意

ナレールWT-3は、消火器ではありません。消火訓練用ですので消火には使用しないでください。このナレールWT-3は圧力を加えますので、充てん方法を誤ると大変危険です。充てん作業は消防設備士に依頼し、ご使用には消防設備士立会いのもと行われますようお願いいたします。

▲危険

- 1. 蓄圧作業のとき、本体容器の錆、傷、変形等や水入れ口及び圧力計に異状があるものは破裂等により人身事故を招くおそれがありますので使用しないこと。
- 2. ナレールWT-3は圧力容器ですので、衝撃等を加えないこと。

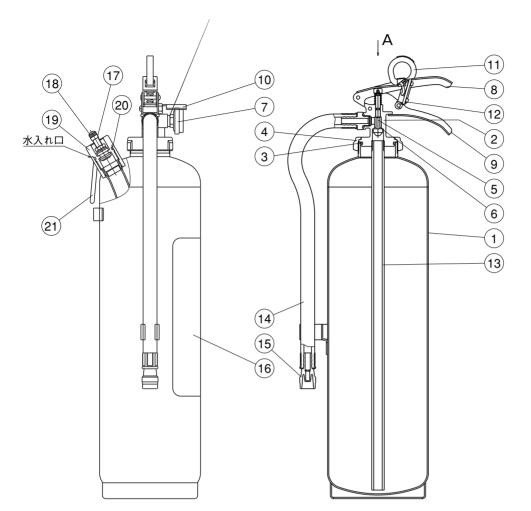
▲警告

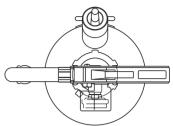
- 1. 水入れ口フタを外す時、指示圧力計がOの時でも必ず容器を逆さにして、レバー上下を握り圧力のない事を確認すること。
- 2. 水入れ口フタ以外は外さないこと。
- 3. 蓄圧作業のときに、顔や体が容器の上にならないよう操作すること。
- 4. 人に危害を加える恐れがありますので、人に向かって放射をしないこと。

⚠注意

- 1. 製造年より5年を過ぎますと、容器等の劣化により破裂事故を招く恐れがありますので、使用しないでください。また、製造年から5年以内のナレールWT-3でも著しいサビ、キズ、変形のあるものは、使用しないでください。
- 2. 保管は、高温多湿や潮風、直射日光、雨のあたるところは変質、錆の原因になりますで、避けてください。
- 3. 落下物の恐れのある下や転倒しやすい場所を避け、保管してください。
- 4. 使用しない期間は、容器内の圧力と水を抜き、乾燥して保管してください。
- 5. 持ち運びは必ずレバーシタを持ってください。

2 各部の名称と仕様





A カラ見ル

ハンドル
Οリング
水入れ口フタ
エアバルブキャップ
エアバルブ組立
銘 板
ノズル
ホース
サイホン
ストッパー
安全栓
圧力計カバー
レバー(シタ)
レバー(ウエ)
指示圧力計
バルブパッキン
バルブステム
キャップ
Oリング
バルブ本体
容器
部品名称

仕様	WT-3空質量	充てん液量	充てん圧力	放射時間	放射距離	放射機構
	3.2kg	3リットル	7~9.8×10 ⁻¹ MPa	約20秒	5~7m	開閉バルブ式

3 水 の 充 て ん 方 法

- 1. 容器内に圧力が残っていないことを確認してください。
 - (1)指示圧力計の指針(赤)がO(ゼロ)を示していることを確認してください。
 - (2)容器を逆さまにしてレバー上下を握り圧力の無い事を確認してください。
- 2. 水入れ口フタのハンドルを左側に回し外します。
- 3. 容器を立てた状態で水入れ口から水を充てんします。
 - (1)水は水道水を使用してください。水道水以外の場合、錆の発生やバルブのガス漏れの原因になります。
 - (2)水入れ口より水が溢れ出したら充てん完了です。
 - (3)で使用前に必ず充てん量が3リットル以下であることを総質量で確認してください。

総質量 6.2kg以下(WT-3空質量3.2kg+水質量3kg)

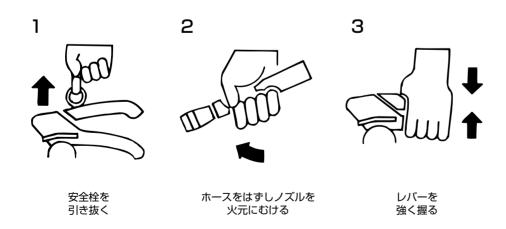
4. 水入れ口フタのハンドルを右側に回して水入れ口フタに組付けているOリングが水入れ口の中に完全に入り込むまで締めつけてください。

4 圧力の充てん方法

- 1. 水入れ口フタのエアバルブキャップを外し、エアコンプレッサー又は圧力調整器付き窒素ボンベにより0.7~0.98MPa(7~9.8kgf/cm²、指示圧力計緑の範囲内)まで加圧してください。
 - (1)0.98MPa以上は加圧しないでください。
 - (2)自動車用タイヤバルブを使用しておりますので、バルブに合う口金を使用してください。
 - (3)圧力調整器付き窒素ボンベの場合、2次側圧力を0.9~0.95MPaに調整してください。
 - (4)エアコンプレッサーの場合、元圧は0.75MPa以上必要です。
- 2. 蓄圧作業後、エアバルブキャップを取り付けてください。

5 使用方法

容器の銘板に表示している使用方法(下図)に従ってご使用ください。



6 点検のお願い

安全のため、ご使用前に必ず以下の点検をしてください。消防設備士(乙種6類)以外は、水入れ口フタ以外の取り外しや分解はしないでください。

- 1. 容器、レバー、キャップ等の変形、亀裂、腐食、ゆるみ等の無い事を確認してください。
- 2. 水入れ口フタを取り外し、変形、亀裂等の無い事を確認してください。
- 3. ご使用前にエアバルブ組立や指示圧力計、Oリングなどを点検し、異状がある場合は使用を中止して部品を交換してください。

本製品についての、お問い合わせ、ご相談は弊社販売店または、下記の各営業所へご連絡ください。

発売元 ダマルヤマエクセル株式会社 製造元 ダ 紫森 大山 製作 折

インターネットホームページ・アドレス http://www.maruyamaexcell.co.jp

九州営業所:〒818-0041福岡県筑紫野市上古賀4-9-1

本 社:〒130-8567 東京都墨田区緑1-2-10 TEL 03(5600)9821 FAX 03(5600)9818 関東営業所:〒130-8567 東京都墨田区緑1-2-10 TEL 03(5600)9821 FAX 03(5600)9818 TEL 03(5600)981

P/N. 138928-02 12.11 TAP/M

TEL 092(919)1400 FAX 092(921)3399